

レビューサービス一覧

当社が提供する各種レビューサービスの一覧です。各サービスの詳細は次スライド以降をご覧ください。

サービス名	概要	おすすめの企業	アウトプットイメージ	価格（税別）
統合報告書AI分析サービス	アカデミア発のAIスタートアップであるaiESGが開発した高精度AI「aiESG for IR」による開示情報分析及び、当社スタッフによる改善プランのご提案。 対象媒体：統合報告書、サスレポ、その他	他社、特に海外企業を中心に開示面での相对比较をしたい企業。 同業内での相对比较など、客観的なスコアをベースに、改善度をモニタリングしたい企業。	- パワーポイント資料：20～30枚程度 主な内容 - 約20社のベンチマーク企業との項目別スコア比較 - 高スコア企業の開示例及び貴社改善点の解説	200万円 （統合報告書制作のお取引がある企業様は150万円）
レビューサービス	統合報告書業界No.1の実績と知見を基にレビュー及び改善アドバイス実施。ESGやデザイン、英訳ライターなど各専門スタッフからのレビューもオプション対応可能。 対象媒体：統合報告書、その他	編集的な観点も含め、総合的な改善アドバイスがほしい企業。	- パワーポイント資料：20～30枚程度 主な内容 - 総評、評価点、改善点、改善の参考になる事例	35～250万円
①AI統合報告書レビュー ②AI開示充実度ベンチマーク診断 ③ESG版：AI統合報告書レビュー	統合報告書制作で培った当社独自の評価ロジックをAIに実装し、統合報告書レビュー、または決算説明資料・適時開示・コーポレートサイト等の公開情報を基に開示充実度診断を実施。 対象媒体：統合報告書、その他	自社の開示情報が投資家視点、編集視点で伝わりやすい形になっているか確認したい企業。	- 統合報告書レビュー：PDF3～4ページ程度 - 開示充実度ベンチマーク診断：PDF6～8ページ程度 主な内容 - 貴社開示の強み、弱み、改善ポイント、等	30万円（①&②） 20万円（③）

サービス概要

世界25,000以上の報告書を学習した高精度AI「aiESG for IR」による分析結果と、開示実務で培った当社の知見を掛け合わせ、開示改善プランをご提案します。

AI分析では、単なるキーワード抽出ではなく、**文脈を理解した評価**により、貴社の開示内容を分析し、**競合他社や業界トレンドとの比較を通じて、強み・弱み、改善ポイントを整理**します。

海外企業との比較分析も効率的に実施可能です。また、**客観的なスコア**をベースに改善度のモニタリングも可能です。

aiESG for IRによる分析

- 貴社及びベンチマーク企業の統合報告書をはじめとする開示媒体を分析・スコアリング。
- ベンチマーク企業は20社まで分析可能。
海外の同業他社グループ、国内の同業他社グループ、各種アワード受賞企業グループなど、目的に応じたグルーピングで分析を実施。
- ESG関連、企業戦略・事業戦略、資本・資源配分等のテーマを含む各種項目について、計130の指標に分類し分析。特定指標に絞った分析にも対応。

弊社によるレビュー結果・開示改善プランのご提示

- AIによる分析結果について、実際のレポートやその他背景も踏まえ、当社スタッフによる解説を加えた形でご説明。
- ご説明に対し、貴社よりフィードバック。今後の開示改善に向け、実効的なアドバイスができるよう実際の取り組み状況等もヒアリング。
- AIレビュー結果と、貴社の現状を踏まえ、開示改善プランを作成。改善プランについては、次回の統合報告書で重点的に対応すべき点や、複数年かけて取り組みそのものや推進体制から対応していくべき点等、3か年程度の時間軸でのロードマップを作成。

※本サービスについて、より詳細なサービス紹介をご希望の場合は、別紙でご案内いたします。

レビューサービス

サービス概要

統合報告書業界No.1の実績と知見を基に、優良企業を長く担当しているコンサルタントが中心となり、アートディレクターやネイティブスタッフ、ESGスペシャリスト、さらに元トップアナリストとも連携した、統合報告書レビューサービスをお届けします。このほか、IRサイトやサステナビリティサイトなどのウェブサイトについてもレビューします。

統合報告書

レビューサービス例

1. IR視点、ファイナンス視点からのレビュー
2. ESG視点からのレビュー
3. 先進企業の事例
4. 来年度の統合報告書で開示すべきこと
5. 貴社が目指す姿と伝えるべきメッセージについて
6. デザイン面のレビュー
7. 英文品質のレビュー
8. 弊社より貴社統合報告書に対するレビュー解説・ディスカッション など

Webサイトなど

レビューサービス例

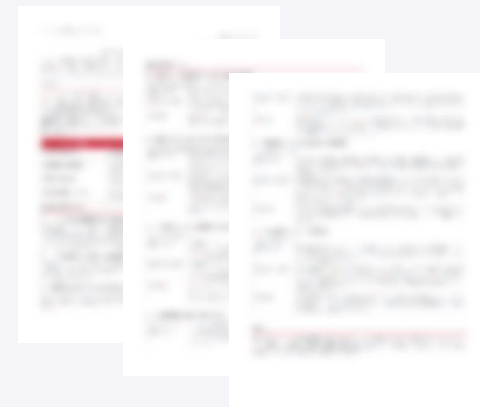
1. 要素の過不足や導線のレビュー
2. IR視点、ファイナンス視点からのレビュー
3. ESG視点からのレビュー
4. 先進企業の事例
5. WEBデザインのレビュー
6. デザイン面のレビュー
7. 英文品質のレビュー など

AI統合報告書レビュー

完成した統合報告書を編集視点（構成・読み物としての完成度）と投資家視点（資本コスト・施策から企業価値への因果の鎖）の双方から精読。サマリー・強み・重点改善ポイントを該当ページ指定つきで具体的に指摘します。制作をやり直すのではなく、いま手元にある報告書の伝わり方を引き上げるための診断サービスです。

サービス概要

統合報告書制作で培った当社独自の評価ロジックをAIに実装し、貴社の統合報告書をレビューします。チェックボックス的な採点ではなく、報告書全体が一本のストーリーとして投資家に伝わっているか、企業価値向上の道筋が読み取れる状態にあるかを評価し、強みと改善余地を該当ページ指定つきで具体的にお示しします。



報告書の精読・素材読み込み

- 発行済みの統合報告書を汎用AIモデルで精読し、ページ構成・トップメッセージ・図版・価値創造プロセス図まで具体的に把握
- Webサイト・公開情報と照合し、開示と実態のギャップを確認

編集者×投資家の二視点でレビュー

- 編集視点：構成・読み物としての完成度、章のつながり（コネクティビティ）、トップメッセージの熱量・固有性
- 投資家視点：資本コストの開示、施策からROE/ROIC→PBRへの因果の鎖、資源配分・株主還元のメリハリ、投資家対話の還流
- 先進企業の統合報告書企画制作のご支援を通じて培った当社独自ロジックで、強み・改善余地を該当ページ指定つきで具体的に抽出（「確認できた点／読み取り上の論点／改善余地」で整理）

レビューレポート提示・ご説明

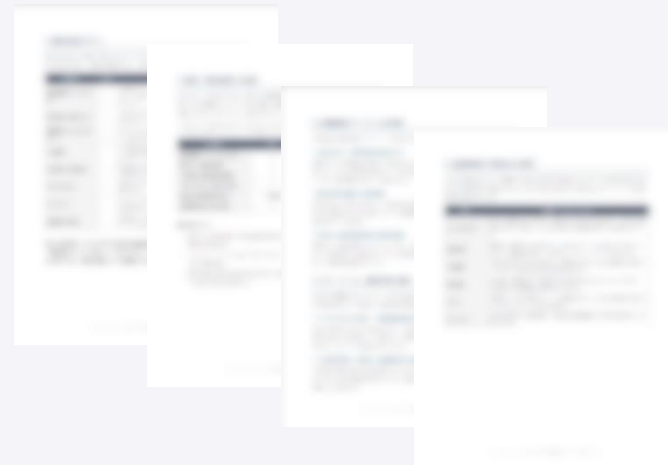
- レビューレポート（PDF3～4ページ程度）を納品
- 1回1時間のお打ち合わせにて、当社プロジェクトディレクターよりご説明
- <含む内容>①サマリー／②貴社報告書の強み／③重点改善ポイント／④結び

AI開示充実度ベンチマーク診断

AI開示診断は、決算説明資料・適時開示・コーポレートサイト等の公開情報のみをもとに、貴社の開示が投資家に伝わる形になっているかを8つの観点で評価します。競合・類似企業との比較で立ち位置を示し、投資家から想定される問いと、優先的に整えるべきテーマまで提示。統合報告書がなくても着手できる、低負担の入口としてご提案可能です。

サービス概要

統合報告書制作で培った当社独自の評価ロジックをAIに実装し、貴社の「価値創造ストーリー」がどの程度投資家に伝わる形で開示されているかを簡易評価します。評価の目的は、開示の形式的な網羅性チェックではなく、断片的に存在する開示要素が一本のストーリーとしてつながっているか、投資家が企業価値向上の道筋を理解できる状態にあるかを可視化することにあります。



開示情報収集

- 決算説明資料・適時開示・コーポレートサイト・中長期ビジョン関連資料等の貴社公開情報を収集
- 公開情報のみをAIで構造化（公式の開示情報のみを使用）

独自ロジックで8観点評価・比較

- 当社独自ロジックで「価値創造ストーリー」の伝わり方を8観点で評価（○＝伝わる水準／△＝接続・深掘り不足／×＝公開情報で確認できない）
- 同規模の同業群／開示先進企業との二層比較で立ち位置を可視化
- 投資家視点（資本コストと目標値、PBR・キャピタルアロケーション、人的資本と企業価値の因果等）から想定される問いを設計

診断レポート提示・ご説明

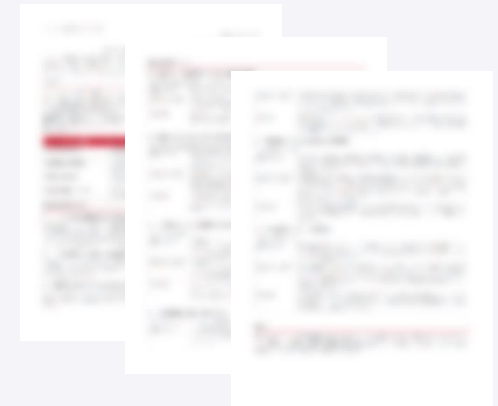
- 診断レポート（PDF6～8ページ程度）を納品
- 1回1時間のお打ち合わせにて、当社プロジェクトディレクターよりご説明
- <含む内容>①開示状況サマリー／②競合・類似企業との比較／③企業価値ストーリー上の強み／④接続が弱い論点／⑤投資家視点で想定される問い／⑥優先的に整えるべき開示テーマ

ESG版：AI統合報告書レビュー

統合報告書・サステナビリティレポートを投資家・スチュワードシップ視点からESGの観点で精読。各種スタンダードやガイドラインなどを参考に、ESGの領域別や全体の統合の質などについて、該当ページ指定つきで具体的に指摘します。制作をやり直すのではなく、いま手元にある報告書の伝わり方を引き上げるための診断サービスです。

サービス概要

投資家・スチュワードシップの視点でESG開示を評価する当社独自ロジックをAIに実装。「やっていることの報告」で終わらせず、マテリアリティの妥当性や、ESG情報と財務情報のコネクティビティなどを評価します。SASBスタンダードや各種ガイドラインなどに照らし、強みと改善余地を該当ページ指定つきで具体的にお示しします。



報告書の精読・素材読み込み

- 統合報告書・サステナビリティレポート等を精読し、ページ構成・マテリアリティ・KPI・目標年次を具体的に把握
- SASBスタンダードを参考に対象企業のマテリアル課題を把握し、レビューの観点に都度追加

投資家視点でレビュー

- 環境・社会：環境については、TCFD／IFRS S2号、TNFD等を確認し、気候変動・自然資本テーマについて評価。社会については、人的資本・人権サプライチェーンなどのテーマを評価
- ガバナンス：前提として機関設計を特定の上、CGコードやその他ガイドラインなどの観点から評価
- 統合の質：マテリアリティの妥当性、将来CFへの接続などを評価

レビューレポート提示・ご説明

- レビューレポート（PDF3～4ページ程度）を納品
- 1回1時間のお打ち合わせにて、当社ESGスペシャリストよりご説明
- <含む内容> ①サマリー／②領域別評価（E・S・G）／③評価点・改善点／④結び